

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2017-79877(P2017-79877A)

【公開日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-209125(P2015-209125)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 3 4 C

A 6 1 B 1/00 3 0 0 P

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

起立台アセンブリ4 9は図4、図5のように一体的に組み立てられて、図7のように先端部本体3 0の所定の収容部に収容保持されて先端部2 0内に固定される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 5】

細径部6 4は、太径部6 3の起立レバー5 2側に隣接して設けられ、円柱状に形成される。また、細径部6 4の外径は太径部6 3の外径よりも小さく、シール部材9 2(図9参照)が外嵌される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 8】

また、起立台回転軸部6 2とレバー回転軸部8 0との連結位置がシール部材9 2よりも起立レバー5 2側に配置されるため、起立台回転軸部6 2とレバー回転軸部8 0との連結部分の隙間や起立台収容溝4 5側からのレバー収容空間5 6 Aに血液や水等が入り込むことはなく、また、シール部材9 2よりも起立台収容溝4 5側において血液や水等が入り込む部材間の連結部分も存在しない。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0 1 1 4】**

1 ... 超音波検査システム、2 ... 超音波内視鏡、3 ... 超音波用プロセッサユニット、4 ... 内視鏡用プロセッサユニット、5 ... 光源装置、6 ... モニタ、10 ... 挿入部、11 ... 操作部、14 ... ユニバーサルコード、15 ... 軟性部、16 ... 湾曲部、20 ... 先端部、21 ... アングルノブ、24 ... 起立操作レバー、30 ... 先端部本体、41 ... 処置具導出部、42 ... 観察窓、45 ... 起立台収容溝、46R、46L ... 隙間部、46RF、46LF ... 幅狭隙間部、46RN、46LN ... 幅広隙間部、47R、47L ... 起立台収容溝側面、48R、48L ... 誘い込み部、49 ... 起立台アセンブリ、50 ... 起立台、50A ... ガイド面、51 ... アセンブリ本体、52 ... 起立レバー、55A ... 処置具挿通孔、56 ... レバー収容部、56A ... レバー収容空間、57 ... 軸受孔、60 ... 起立台本体、61 ... 支持部、62 ... 起立台回転軸部、70 ... 近位端部、71 ... 遠位端部、72R、72L ... 起立台側面、72RF、72LF ... 遠位端部側側面、72RN、72LN ... 近位端部側側面、80 ... レバー回転軸部、81 ... ワイヤ連結部、91 ... シール溝、92 ... シール部材、100 ... 超音波観察部、112 ... コントロールケーブル、113 ... 操作ワイヤ、114 ... ガイド管

【手続補正5】**【補正対象書類名】図面****【補正対象項目名】図4****【補正方法】変更****【補正の内容】**

【図4】

